

おばなざわ 市議会だより

95号

平成29年11月1日発行



～アート・音楽で地域の魅力を発信～

10月25日(水)に宮沢地区・矢越「産業創出型シェアハウス」にて、地域おこし協力隊による矢越をテーマに制作した絵画と音楽の発表会が行われました。「芸術的なスキルを活かして地域の魅力をPR!!」

8月臨時会・9月定例会

平成28年度決算を認定	2
決算特別委員会	4
分科会委員長報告	6・7
請願・8月臨時会	7
新役員体制	8
一般質問	10
特集モニター	18
私のひとこと	20

私のひとこと

「平成29年度生涯スポーツ優良団体」を受賞して



S-Ilandoba
(NPO法人尾花沢総合スポーツクラブ)
クラブマネージャー **佐久間 秀晴 さん**

まず、この度NPO法人尾花沢総合スポーツクラブ(以下S-Ilandoba)は、文部科学省より「生涯スポーツ優良団体」という名誉ある賞を受賞したことを市民の皆さんに報告させていただきます。そしてこの受賞はクラブ設立から現在にかけて、多くの皆様からのご指導・ご協力の賜物と感謝申し上げます。

S-Ilandobaおはねは、全国3,500ある総合型地域スポーツクラブのひとつで、「新しい公共」という位置づけで全国的にも今後期待されている取り組みのひとつになっています。主な取り組みとしては、スポーツを核に地域の課題解決をしていく活動

を行っています。我々S-Ilandobaおはねとしては、施設管理を初め、子どもたちの体向上、高齢者がいつまでも元気に過ごせるためのさまざまな委託事業や子どもから高齢者まで誰もが楽しく体を動かせるようなプログラム、イベントの開催などの活動を行っています。

今やスポーツは、教育としての意味合いだけではなく健康、福祉はもとより観光、地域活性化などあらゆる分野の核となり得る存在であります。現に東京オリンピック・パラリンピックでは、健常者、障がい者の境目を無くし、海外から多くの競技者や観光客を受け入れる組織としてスポー

ツ庁を立ち上げています。地方の行政においてもスポーツ部局を教育委員会内に置かないところが増えてきています。尾花沢市は、銀山、徳良湖、花笠高原、長根山などスポーツと観光、スポーツと健康・子育て、スポーツとまちづくりに活用できるスポットがたくさんあるところに存在します。ぜひとも、尾花沢市でもさまざまな分野をスポーツで繋ぎ合わせる取り組みができればと考えています。その一助をS-Ilandobaおはねが担うことで、この表彰を受賞した恩返しを地域にできるのではないかと考えております。



発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

表紙の説明

表紙タイトル文字と8ページの議員15人の顔イラストは古瀬志織さんの作品。チェリストは加藤皓平さん。写真撮影は林慶一さん。3人は昨年度より尾花沢市の地域おこし協力隊として活躍しています。尾花沢を舞台に3人の特技が響き合って、これからです。活躍の場が広がります。

あとがき

白鳥の飛来をおかえた時期、新メンバーで編集の追い込みにかかりました。モニターの方々から、多くの声が届き、市民に近い議会だよりになるように精進していきます。

議会だよりもあと5号で100号を迎えます。大きな節目を大切にして、市民と議会を結ぶ議会だよりを50年・100年の未来につなげていきたいと願っています。

(小関 英子)

- 市議会だより編集委員
- 委員長 小関 英子
 - 副委員長 鈴木 裕雅
 - 委員 青野 隆一
 - 委員 塩原未知子
 - 委員 笹原 和子
 - 委員 伊藤 浩
 - 委員 鈴木 清

平成28年度決算を認定

市民生活のために幅広く使われました

一般会計歳出 117億4338万円 特別会計歳出 53億668万円

歳出総額 170億5006万円



元気なおばねっ子

保健衛生関係

インフルエンザ
予防接種事業
(本市独自事業)

1歳～中学3年まで
延べ1,323人が該当

489万円

農業関係

有害鳥獣対策事業

簡易電気柵 19件
新規狩猟者支援 など

221万円



簡易電気柵

定例会のあらまし

9月定例会は9月8日から9月27日までの20日間の会期で開催されました。平成28年度各会計決算の認定7件、補正予算4件、他7件の議案が提出され、慎重審議の結果いずれも原案どおり可決されました。また請願2件が全会一致で採択されました。

消防関係

小型ポンプ付軽積載車購入事業

丹生・六沢 2台

1060万円

小型ポンプ購入事業

五十沢・銀山 2台

339万円



小型ポンプ交付

市民生活関係

居住空間無雪化支援事業

克雪住宅3件、消融雪装置1件
除雪機械74件

474万円

ふるさと暮らし応援事業

住宅新築助成15件
宅地取得等助成22件 など

2978万円



克雪住宅

建設関係

市道の改修工事・測量設計事業

市内 27路線

3億3036万円



改良された市道

条例改正
議会改革により次の改選期に定数削減される事を受け、できるだけ新人が立候補しやすい環境を整えるため、県内では尾花沢だけ公費負担がなかった市長選挙、市議会議員選挙費用の一部を予算化するため条例を改正した。

特別会計の歳出金額	国民健康保険特別会計	事業勘定	25億5900万円
		中央診療所施設勘定	3億5342万円
	簡易水道特別会計		2億6220万円
	国営村山北部土地改良事業特別会計		318万円
	農業集落排水事業特別会計		6934万円
	介護保険特別会計		18億6964万円
	後期高齢者医療保険特別会計		1億8990万円

平成28年度 決算審査

こうい うことでした



三代目雪ごろうだよ!!

雪ごろうの活動

Q シンボルキャラクター制作費はどう使われたか。その中に「こっつお3」は含まれるのか？

A 「雪ごろう」が古くなったので移動もできるエア式のものにリニューアルした。「こっつお3」も古くなったので冬場の活用も考え、今後検討したい。

消防団員の報酬

Q 尾花沢市消防団員の報酬の見直しを。

A H9年4月に年額1万7千円に見直しした。米沢、上山と同額で、大石田1万6千円、村山1万8千円、東根1万6千400円となっている。

小学生の英語力アップ

Q 外国語指導業務委託料はどのような形で委託し、また小学校の英語が義務化されようとしているが、現在の人数は適正と考えているか？

A 民間の派遣会社に委託をし、昨年は1名増員し、現在3名を市内の小、中学校に派遣して大変好評でさらに今後検討していく。

荒橋の現況

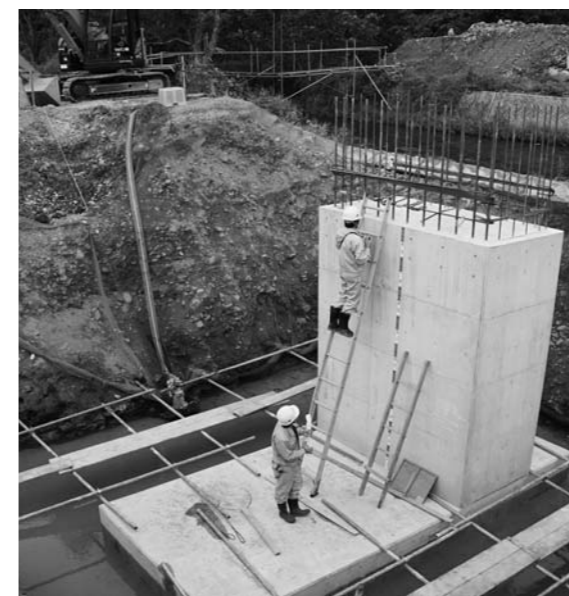
Q 昨年8月の台風7号で流された荒橋は、現在、基礎部分の工事を行っているが完成はいつか。

A 下部工事5月、上部工事6月に発注しH30年3月23日の工期内完成に向けて進めている。

子どもの貧困問題

Q 教育費の執行率が90・9%となっているが、深刻な「子どもの貧困」問題解決に積極的に取り組んではどうか。

A 「子どもの貧困」対策は、要保護、準要保護に対し就学援助は100%の認定率で充分な支援を行っている。他市町村と比較してもおとらない金額である。



荒橋橋 待ちどおしいなあ～

区長報酬

Q 区長の年間の活動を考えて区長報酬の引き上げを。

A 報酬の見直しはH17年4月に行い、近隣市町村の報酬と比較し高い位置にあるが、必要に応じて検討していく。

地元の宝を子どもたちに

Q 芭蕉清風歴史資料館の利用を授業の一環として取り入れているか？

A 小学生は利用しているが、中学生の取り組みは確認してないが、学校と意見を交換しながら積極的に利用するよう進めていく。



今年最後の雪山になるんだなあ～

法人化後の経過

Q 尾花沢市観光物産協会補助金の中に3大まつり補助金が組み込まれているが、分けるべきではないか。また各月の試算表の確認はどうなっているか？

A 補助金は、今後明確に予算書の方に明記していく、また試算表を求めているなかったの、今後確認できるように。また試算表を求めているなかったの、今後確認できるように。

雪冷房

Q 庁舎内に雪冷房の設備があるのにエアコンを設置した理由は。

A 雪冷房は湿度は下がるが、温度は下がりにくい。近年の暑さに充分な機能が発揮されず、市民や職員の熱中症の防止や環境を整えるために設置した。

街路灯LED化

Q 市内のLED防犯灯の設置費の半分が申請料となっている。一括申請にはできないか。

A 市内383ヶ所を整備したが、東北電力では一灯一契約、電力申請書一枚が必要となるため一括申請はできない。

首都圏でのPR

Q 市長のトップセールスの効果はどうか。

A 紙上ではPRできない首都圏の消費者に直接PRすることができ、すいかの消費者の生の声を直接聞ける。銀山やふるさと納税のPRなど幅広く効果がでている。

印刷製本費

Q 市報の折り込みチラシが多くなってきている。少なくともすべきではないか。

A 四半期毎に市報掲載計画書を各課に配布し、市報の折り付けを行っている。原稿締切日に間に合わない時は、折り込みになる。今後配布物を少なくするよう取り組んでいく。



暑いのに雪ごろうさんだなあ～

WiFi整備工事

Q 尾花沢の観光WiFiのサービスは、どのようになっているか。

A 銀山温泉を始め市内の公共施設18ヶ所21アクセスポイントに、WiFiを設置している。海外の方を含め多くの方に利用されている。



どがえすんだず

議長 長 須貝 孝
決算特別委員長 青野隆一

右の2名は、役職の都合上質疑できません。

人事・補正予算の審議

平成29年8月4日改選期のため議長、副議長の選挙が行われた。その後、常任委員、広域組合議会議員、監査委員と都市計画審議会委員が選任された。
平成29年度一般会計補正予算については、活発な質疑応答が交わされましたが原案の通り全会一致で可決した。

元気な6次産業化ステップアップ支援事業補助金 2千305万円

Q 国道347沿い周辺の先にできた産直施設との連携や相乗効果が期待できるようにできないのか、また市内での誘客増にむけ観光案内所としての機能をもたせられないか。

A JAみちのく村山の役員も代わり、通年通行を機会にJAグリーン施設の施設を大きくリニューアルするとのこと、銀山に来る方を市内周遊できるように観光案内的な要素も取り入れて欲しいと要望した。

ファイリングシステム導入事業費 560万円

Q ファイリングシステムは沢山ある資料を電子化してファイルする事業なのか。

A デジタル化はせず、現在の文書と新たに発生する文書の削減を図るため新庁舎建設までの二年間、現状の紙ベースの簿冊から移行するためのコンサルティング費用。

請願

9月定例会に、2件の請願が提出され、審査の結果いずれも全会一致で採択されました。

採択

◎平成29年請願第3号

平成30年産以降の米政策の見直しに関する請願
請願者 みちのく村山農業協同組合

代表理事組合長 折原敬一

平成30年産以降もオール日本・オール山形・オール尾花沢、米の主産地として政府に対して意見書を提出するようお願いするものです。

採択

◎平成29年請願第4号

国指定延沢城跡登城路に関する請願
請願者 延沢城跡保存会会長 有路重夫

国の史跡指定を受けている延沢城跡の登城路の一部について、道幅2Mを市で買入れさせていただきよう願います。



登城路調査の様子

決算特別委員会 分科会委員長報告

第1分科会 (総務文教)

一般会計歳入

市税は収入済額の前年度対比、収納率の状況、不納欠損額及び収入未済額の説明があり、不納欠損額は前年度に比べ減収しているが、収入未済額は増加しているため、引き続き公平・公正な収納の確保を図るよう要望した。

総務費

寄付金「ふるさと尾花沢応援基金」は、寄付者の傾向を把握し長年寄付を続けた方々に特別な感謝を表すよう要望、また記念品代は総務省の通達をふまえて返礼率を見直す予定の説明があり、国や他市町村の動向を注視し対応されるよう要望した。

公共施設整備等基金繰入金

使用しない施設の解体計画を作成し該当金

の有効活用を行うよう要望した。

財産管理費

公用車、バス等の購入は価格だけでなく、利用者に配慮した選定を行うよう要望した。

企画調整費

おいしい山形空港観光ライナーの安価な料金サービスを広く周知し更なる利用拡大に取り組むよう要望した。

路線バス運行費

バスの老朽化に伴う修繕費等で、補助金額が増加している、今後の運行の在り方について検討するよう要望した。

地域開発費

田舎暮らし短期体験事業は、本市に興味のある方に広く利用出来るようPRを強化し、移住推進につながるよう要望した。

戸籍住民基本台帳費

出産祝品は女性の視点を大切に、事業を推

第2分科会 (産業厚生)

雪対策・新エネルギー推進費

新庁舎建設後においても、雪、木質バイオマス、地中熱や風力等の地域資源を活用した再生可能エネルギーの普及に更なる研究、調査、市民への有効活用が図られるよう要望した。

まち・ひと・しごと創生費

宝栄牧場の調査の結果アウトドアスポーツ整備に可能性があるとの調査結果が出たが、トイレや道路の整備に課題があり今後の方向性を検討するよう要望した。

老人福祉費

敬老会補助金について主催者側の負担の増加や開催場所の確保など地区ごとに多様な課題があり、今後各地区

進されるよう要望した。地方創生加速化交付金産業創出型シェアハウスは、現在、入居者が決まっていないので、早急に入居者の確保を図り、募集や運営に際し市若手職員と連携し取り組むよう要望した。



シェアハウスでの様子

常備消防費

各種特殊免許取得者の状況は、近年一斉に退職者があり、消防業務に支障がないよう、計画的に免許を取得していること説明を受けた。

体育振興費

スポーツ大会出場激励金は障害を持つ方の場合、サポート要員を特に必要のため、今後拡充するよう要望した。



刈払いの様子

道路維持費

除雪情報提供システム導入業務委託料について、除雪路線の詳細が把握でき、迅速な対応につながっている。一人暮らし高齢者宅など要配慮世帯の把握も行き、更に福祉分野との連携や空き家等の雪対策に結びつけていただくよう要望した。

子育て対策費

現在不足している職員の確保や待遇面の改善に努力し、ABES Aや放課後児童クラブについては利用者の多様化するニーズに答えられるよう要望した。

新体制でがんばります！



須貝 孝 議長

いま議会には、行政監視機能に加え、政策立案機能の発揮が期待されています。そのため議員の資質向上にも努め、市の様々な課題に幅広く提言できる市議会をめざしてまいります。



星川 睦子 副議長

議長を補佐するとともに、様々な課題に真摯に取り組み議会運営を推進し、皆様の付託に応えるべく努力してまいります。

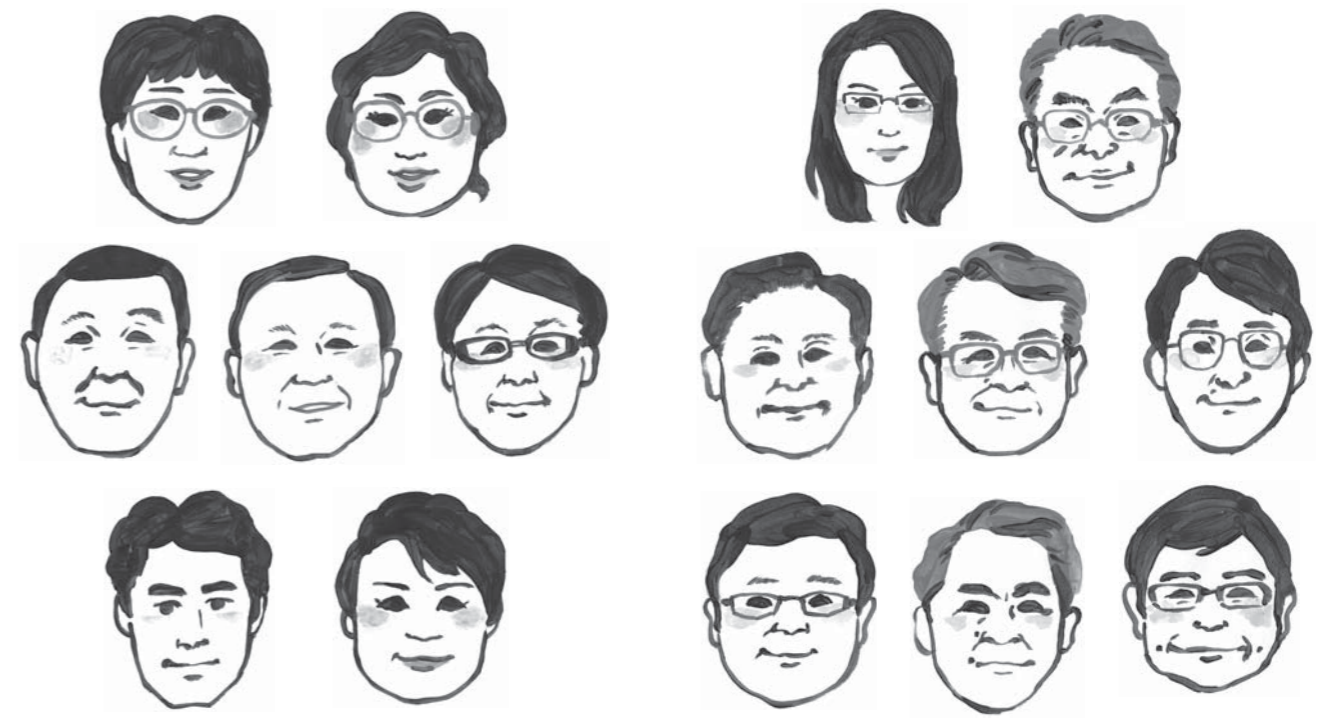
新議長、副議長の下、改選期までの2年間さらなる議会改革を進めてまいります。この度、改選期2名の定数削減をみこして、3つあった常任委員会を2つにし、それぞれ新たな枠組みで積極的な議会活動を展開してまいります。

総務文教常任委員会 市民厚生常任委員会 産業建設常任委員会



総務文教常任委員会

産業厚生常任委員会



◎菅根 光雄 ◎伊藤 浩 奥山 格 菅野 修一
○小関 英子 ○鈴木 裕雅
◎須貝 孝 ◎星川 睦子 ◎武田 佳久 ◎鈴木 清
◎菅野 修一 ◎伊藤 浩 ◎大類 好彦 ◎加藤 克彦 ◎奥山 格 ◎塩原未知子 ◎青野 隆一

◎菅野 修一 ◎伊藤 浩 ◎大類 好彦 ◎加藤 克彦 ◎奥山 格 ◎塩原未知子 ◎青野 隆一

役職	議員名
議会運営委員会	◎菅根 光雄 ○伊藤 浩 奥山 格 菅野 修一 大類 好彦 鈴木 裕雅
尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会議員	議長・衛生常任委員 菅根 光雄 水道常任委員 大類 好彦 議運委員長・衛生常任委員長 小関 英子 議運委員・水道常任委員 伊藤 浩 水道常任副委員長 鈴木 裕雅
北村山広域行政事務組合議会議員	副議長 塩原未知子 議運委員 笹原 和子 青野 隆一
北村山公立病院組合議会議員	監査委員 須貝 孝 (議長) 議運委員 青野 隆一 (産業厚生常任委員長)
尾花沢市都市計画審議会委員	奥山 格 (産業厚生常任委員) 菅根 光雄 (本町地区議員) 星川 睦子 (本町地区議員) 塩原未知子 (本町地区議員) 鈴木 清 (本町地区議員)
森林・林業・林産業活性化推進尾花沢市議会議員連盟役員	会長 須貝 孝 副会長 星川 睦子 幹事長 鈴木 裕雅 幹事 奥山 格 幹事 塩原未知子 幹事 伊藤 浩 幹事 鈴木 清 監事 青野 隆一 監事 笹原 和子
尾花沢市監査委員	菅野 修一

主なもの

尾花沢市市史編纂委員	菅根 光雄
尾花沢市民生児童委員推薦委員	星川 睦子 伊藤 浩
尾花沢市消防賞じゅつ金審査員会委員	武田 佳久 星川 睦子
福祉法人尾花沢市社会福祉協議会評議員	星川 睦子 鈴木 清
村山北部土地改良事業推進協議会委員	須貝 孝 大類 好彦

会派の構成

おばねクラブ	会長 加藤 克彦 副会長 武田 佳久 幹事長 大類 好彦 会計 塩原未知子 鈴木 裕雅
市政クラブ	会長 菅根 光雄 副会長 青野 隆一 須貝 孝
翔政会	会長 星川 睦子 会計 笹原 和子 菅野 修一 伊藤 浩
会派に属さない議員	奥山 格 小関 英子 鈴木 清

議会だより編集委員会	委員長 小関 英子
	副委員長 鈴木 裕雅
	青野 隆一
	塩原未知子
	笹原 和子
	伊藤 浩 鈴木 清



鳥獣による人的被害の再発防止策は

市長……現場の状況に応じた迅速な対応を行う



伊藤 浩 議員

問 「財政調整基金」の目的は何か、また基

答 ふるさとを愛する皆さまからいただいたいる寄付金は8月末で1億

自主財源向上政策
 8月に開催された、山形県農業再生協議会の臨時総会において11月に公表される需要の見通しの情報を基に「生産の目安」を算定することが決定した。市町村段階では、算定方法の大幅な変更による地域・生産者などの混乱を避けるため、目安に基づき、前年同様の設定を行っていきたい。

答 緊急時の災害対策や必要やむを得ない財政需要の財源として設けている。前年度の剰余金の2分の1以上を積み立てることが義務づけられている。本市は自然災害の豪雪を抱えていることから、8億円程度の基金が適正と考えている。

農業政策
問 H30年からの水稲作付についての目安の数値の算定について進捗状況はどうか。

答 「財政調整基金」は、緊急時の災害対策や必要やむを得ない財政需要の財源として設けている。前年度の剰余金の2分の1以上を積み立てることが義務づけられている。本市は自然災害の豪雪を抱えていることから、8億円程度の基金が適正と考えている。

鳥獣対策
問 8月に人的被害が発生したが、今後二度とこのような事があつてはならない。市民が被害に遭った自治体として山形県に対して強く見直しを進言すべきである。再発防止対策をどう考えているのか。

答 人的被害が発生した後、今後の対応策について山形県から通達があった。今後は、錯誤捕獲の場合、従事者などの安全対策を最優先し、現場の状況を充分把握して迅速かつ的確で安全性を最大限に考慮した対応を行う。

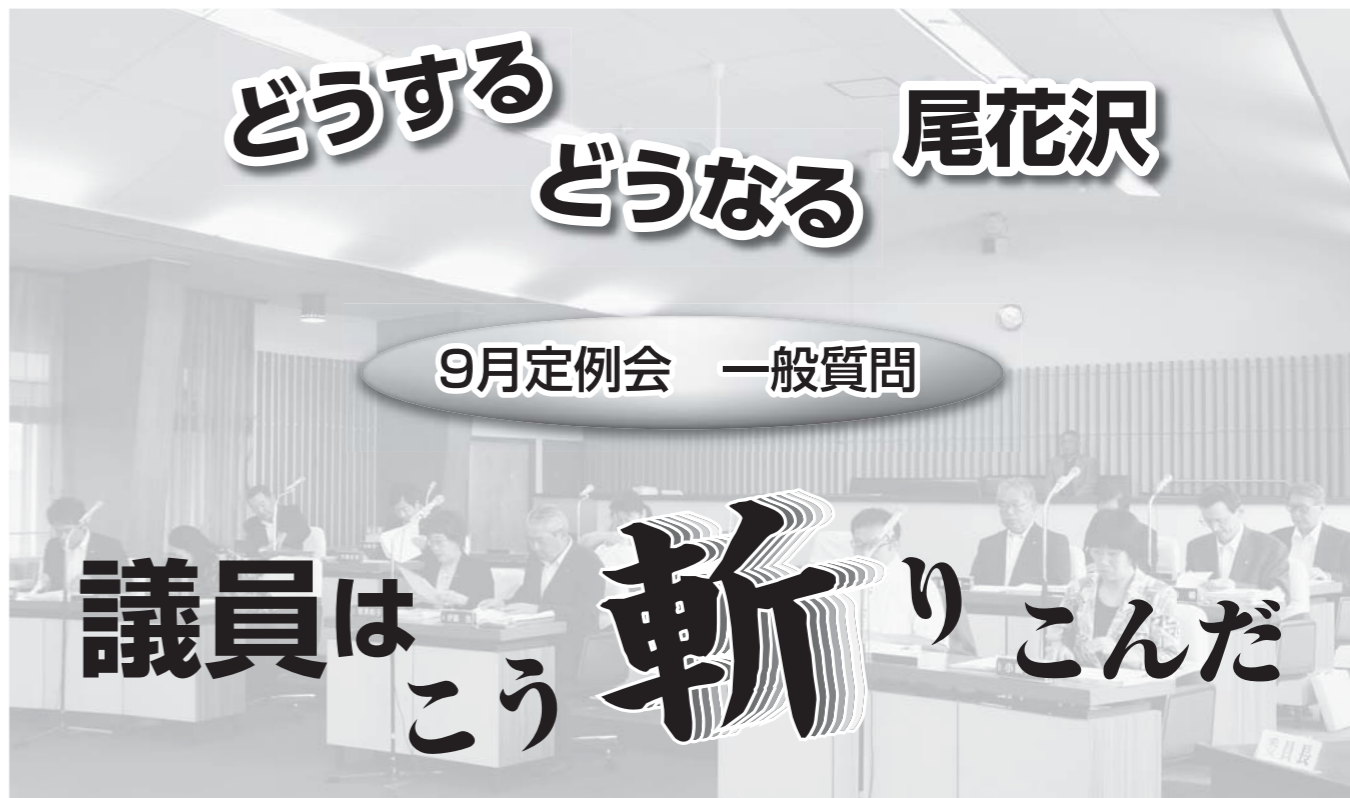


イノシシ被害の圃場

「検討する」の意味を是非検討して欲しい



議員のつぶやき…



9月定例会 一般質問

議員は 斬りこんだ

頁	質問議員(質問順)	質問項目
11	伊藤 浩	(1) これからの農業政策について (2) 自主財源率の向上政策について (3) 鳥獣被害対策について
12	加藤 克彦	(1) 国道347号山形・宮城企業調査について (2) 尾花沢の観光資源について (3) 徳良湖築堤100周年事業とマスタープランについて (4) 無電柱化について
13	塩原 未知子	(1) 山形産尾花沢すいかと尾花沢市内からのすいか出荷について (2) 鳥獣被害防止と山の整備について (3) 徳良湖と銀山温泉との日帰り周遊コースについて (4) 公共施設の冷暖房対策と施設内樹木の管理について (5) 市の緊急情報の受信体制と市民への避難情報の管理について
14	笹原 和子	(1) 徳良湖100周年に向けて (2) 発祥地の花笠まつりについて (3) 市道の歩行者の安全確保について
15	青野 隆一	(1) 鳥獣被害対策について (2) 元気な地域づくり交付金について (3) 第7期介護保険事業計画の策定について (4) 高齢者の足を確保する公共交通制度について (5) 地元人材の確保について
16	菅野 修一	(1) 本市農業の振興について (2) 弾道ミサイルから身を守る避難訓練や子ども達への防災頭巾の配備について
17	菅根 光雄	(1) 自主財源の根幹である税等の収納状況について (2) 市政担当7年間の成果について (3) 徳良湖周辺のマスタープランについて (4) 自主防災組織の災害時対応について (5) 全国学力テストについて

※一般質問は、議員1人あたり最大1時間の持ち時間で終わっています。

農家の所得を守るブランディングを急げ

市長…組織化が問題だが、GIマーク取得を検討する



塩原未知子 議員

「尾花沢すいか」の産地はどい

問 インターネット上で県外産や置賜、庄内、東根市などから「尾花沢すいか」が公然と宣伝販売されている。尾花沢と名乗れる地理的範囲はどこまでか。地理的表示GIマークを取得し、市内農家の所得を上げる施策をすべきではないか。また今年7月から稼働した大石田の西部選果場と市内東部選果場の違いはどうか。

答 今年は5月末の降りよ10日遅れたうえ低温で8月初旬の価格が下落し心配されたが、全体の出荷は良かった。山形県のすいかの

	東部選果場	西部選果場
特色	大玉すいか専用	小玉すいかも可能
選果能力	1日最大5万玉	1日最大 大玉4万玉 小玉1万玉
取扱量(9/4現在)	57.4万箱	50万箱
最新機器	光センサー…糖度やうみを判定！ 3Dカメラ…外観を測定	

産出額は53億円で熊本10億円、千葉64億年に次いで全国3位(7・8月の夏場のシェアは1位)その内尾花沢すいかの産出額はH27・28年度22〜24億円であった。県の作付け面積の91・5%が北村山地域、その55%が本市尾花沢産である。

市ではすいか選果場整備や尾良田の会の若手農業者



尾花沢すいかを育む畑は故郷の宝

問 里山を守ることが鳥獣被害削減につながる

山を守ることがひいては人を守ることに

などの支援を行っている。GIマーク取得に関しては関係各所と連携して継続して登録に向けて検討しているが、生産組合や個人出荷の農家の組織化が課題で取得に至っていない。今後も尾花沢すいかブランドを守る施策を関係団体と協議しGIマークの取得を検討していきたい。

答 登山者の安全安心のために危険箇所への架け替えや崩落した登山道の整備を地域の関係者と共に進めたい。

また野生動物の生息域と人里の境界が不明瞭となっている里山林が多くなってきたため、里山林整備事業を実施している。(今年度は福原中学校周辺の整備を予定)8月に有害駆除委託先の団体で怪我人が出たが公務災害になる。保障内容が充分でないため不足分の対応も考えている。

「尾花沢すいか」は豪雪地で磨き上げた農家の技と努力の賜物！量より質で世界に羽ばたいて欲しい



議員のつぶやき…

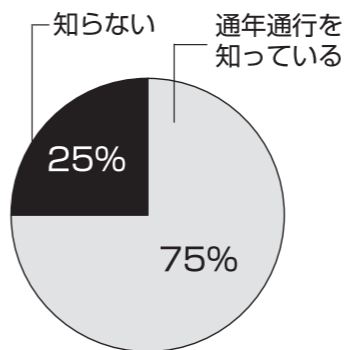
国道347号の今後の利用拡大と課題の解消は

市長…課題を解消し終日開放を目指したい

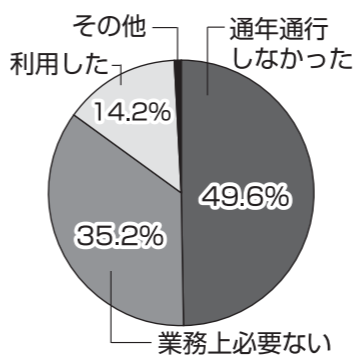
国道347号の今後の課題

問 国道347号の年間通行を受けて、山形宮城両県の企業を対象にアンケート調査を実施した結果、75%の企業が年間通行を認知しているが、その50%の企業が道路の狭さや積雪の不安から利用しなかったという。道路整備の課題をどのように解消していく考えか。

答 鍋越峠道路管理会議では、「鍋越峠冬季道路計画」を策定し運用している。アンケートで出された主な4点、①幅員や線形の改良②防雪・防災・除雪の強化③通行時間帯の拡大④休憩・安全・情報施設の充実などの課題に対し、



企業アンケート調査結果



さらなる安全性・信頼性を確保するため、除雪体制の強化やハード整備について検討している。また、輸送距離や時間短縮効果など、改良に伴う利便性のPRを行っていきたいとしている。本市でも重要事業であり、課題解決に向け、山形宮城両県と連携し、関係機関へ要望して行きたい。

問 両県のトラック協会加盟企業へのアンケート調査では、道路整備の他に「冬期間閉鎖解除を知らなかった」が31社あり、さらに広い周知が必要でないか。

答 観光面での交流にとどまらず、「企業セミナー」にも引き続き力を入れ、年間通行をPRしたい。

問 冬期間通行した99社のうち約9割が、年間通行の利便性を評価している。今後午前7時から午後7時までの時間制限をどのように拡大していく考えか。

答 道路管理検討会議では、完全年間通行を行うには気象観測などのデータの蓄積・解析が十分でないため、継続調査が必要との結論に至った。今後も冬期間の調査観測を継続し、整備効果の検証や利用状況などからニーズを把握し、夜間通行の課題を解決し終日開放を目指したい。



加藤 克彦 議員



議員のつぶやき…

鳥獣被害対策は？

市長……人的被害は絶対ないようにしたい



クマの食害があったスイカ畑

問 使いやすい地域づくり交付金に市長の推進する元気な地域づくり交付金

答 進入防止柵の設置および管理については、地域ぐるみで取り組む必要があるが、有害鳥獣の侵入を防ぐ有効な手段として、先進事例などを調査しながら検討していきたい。

問 国の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、大規模な進入防止柵や緩衝地帯の設置に取り組む考えはないか。

答 不法投棄行為は違法であり、当面は適正処理の徹底を周知しつつ、有効な手段を検討していきたい。

問 旧小学校区などの集落単位で、住み慣れた自宅や地域で過ごすことができる日帰り介護と介護

答 地域活性化につながる期待できる事業に関しては、各地区公民館などと連携しながら、地域の活性化に関する事業枠を拡充するなど、自由度が高く使いやすい交付金となるよう検討していきたい。



福原ふるさと塾「田んぼアート」収穫祭

答 予防教室などを併設した施設を設置する考えはないか。

今後は地域を基盤として、多様な課題に 대응される包括的支援体制の構築を目指して、次期計画の策定に取り組んでいきたい。

青野 隆一 議員

鳥獣被害対策として、個人対応では限界である電気柵や花火ではもう限界。全市をあげた抜本的な対応を！



議員のつぶやき…

「花笠踊りグランプリ」の開催で花笠まつりをさらに盛り上げてはどうか！

市長…以前の経過を踏まえ、慎重に検討したい

徳良湖築堤100周年に向けて

問 徳良湖マスタープランの進捗状況はどうか。「花笠踊り資料館」は、展示品があるのみで寂しいが、改善を図る考えはないか。

答 10月9日に市民ワークショップを行いマスタープラン作りが成功に結びつくものと考えている。「花笠踊り資料館」は、豆人形や写真、関連映像の放映などで、展示資料は十分ではないため充実をはかる。

問 徳良湖周辺をウォーキングするさいトイレの数が少ないようだが増設の考えはないか。また街灯を増やせば夜の徳良湖のイメージアップと防犯につ

答 単独のトイレは、4か所とそのほか公共施設内6か所にあり、個数としては間に合っている。ニーズに合わせ設備の充実と管理に努める。街灯については、防犯上または安全上必要と認められるものは検討していきたい。

市道における歩行者の安全確保

問 市民の安全な暮らしの確保に車道と歩道の修繕を実施しているが、歩道に関しては、凍結や除雪で破損、また街路樹の根本が大きく盛り上がり危険な個所が見受けられる。定期的な巡回、危険個所の把

さらに元気な発祥地花笠まつりを

問 花笠パレードを盛り上げるために、市民や観光客から投票してもらおう「花笠踊りグランプリ」開催で発祥地ならではの花笠まつりを行ってはどうか。

答 過去にグランプリを開催したことがあるが、諸事情により取りやめ

た経過があるので慎重に検討していく。



笹原 和子 議員

ウーン グランプリもやってみねどわからないのになあ



議員のつぶやき…

「自主防災組織の災害対応」の充実を！

市長…さまざまな事態を想定した訓練を働かかけたい



菅根 光雄 議員

問 自主防災組織は各区に結成されているが、災害時に本当に機能す

答 毎月の夜間納税相談や夜間訪問徴収、コンビ二収納により収納率向上に努めている。より効果的な徴収方法を今後も検討したい。

自主防災組織は各地区に結成されているが、災害時に本当に機能す

①日中は避難所担当職員だが、夜間と休日は、市が自主防災組織を検討したい。②設置場所はHPに掲載している。③操作方法は職員研修・市民対象の講習会を開催している。設置場所を含めさらに周知したい。停電時の訓練も今後取り入れたい。

行政の積極的姿勢が見えてこないなあ。



議員のつぶやき…

税等の収納の一元化を

問 一般会計と特別会計の不納欠損額・収入未済額合計が2億3千万円以上になっている。厳しい財源だからこそ収納率を上げていかなければならない。各課にまたがる徴収の一元化を図り、公平、公正な税の収納に取り組むべきではないか。

この不安がある。①夜間や休日の災害時に指定避難所の鍵の保管は、避難者が利用できる範囲を施設管理者との連絡連携ができていないのか。②AED設置場所の周知、活用訓練③夜間や停電時の移動訓練。これらをどう考えていくのか。地域連携で地域の防災に取り組むべきではないか。

徳良湖マスタープランは

問 徳良湖のマスタープランを提示してから時間が経つ。未来に繋がる大切なプランであるが時間がかかりすぎている。しっかりと提示すべきではないか。老朽化してきている既存施設を改修し、市内の方の利用拡大に結び付けるべきではないか。

市民ワークショップを行い、庁内で調整し、全員協議会で最終案を示せるものとする。築30年を過ぎた基幹集落センターと自然研修センターは修繕し、リニューアルをしたい。周辺施設と組み合わせたい。合宿、バードウォッチング、湖を活用したアクティ

残りの任期の取り組み

問 市政担当以来、7年の事業は「元気な尾花沢」にどう結びつき、その効果もしっかり確認することも大切である。残りの任期でどう取り組んでいくのか。

答 元気ある尾花沢をつくりあげていくため、「結」の精神により市民の皆様と力を合わせ、まちづくりに取り組んでまいります。

特産品のGI登録、GAP認証を!!

市長……関係機関と連携して対応したい



菅野 修一 議員

問 本市の優れた農産品にGI(地理的表示保護制度)の登録や、GAP(農業生産工程管理)の認証取得は、喫緊の課題であると思う。販路拡大に大手スーパーの取引条件となったり、輸出にはグローバルGAP認証も求められる。東京オリンピック・パラリンピックの食材使用は認証されたものとしている。生産者の所得向上と生産意欲が高まる取り組みを早急に進めてはどうか。

農地中間管理機構との連携による新基盤整備事業が可能となった。県の判断により農業者の申請や同意手続き、さらには費用負担を求めずに事業が実施できる。農地中間管理機構と連携した新事業を未整備地区に積極的に働きかけて、農地整備の推進を図ってはどうか。



捕獲用の檻

県内ではマタギ文化の小国町での取り組みが。例はあるが、本市は被害防止目的の捕獲が主である。ジビエ工房開設には、①ジビエの需要②安定供給③実施主体などさまざまな課題を検討したい。

避難訓練、防災頭巾は

問 弾道ミサイルから身を守るため、防災行政無線を活用しての避難訓練の実施をすべきと思うがどうか。また、小中学校へは、防災頭巾の配備をしてはどうか。

答 さまざまな災害に対応した訓練が必要と考えている。防災頭巾の配備は他市町村でもまだない。小中学生ともに帽子着用を指導している。

最高んま〜い尾花沢すいか
世界の選手や観客に食べてほしいからね



議員のつぶやき…

首都圏尾花沢会



市議団の花笠踊りに拍手喝采！

9月24日にアルカディア市ヶ谷(私学会館)において「首都圏尾花沢会」が開催されました。須貝新議長はじめ参加した9名の議員は、本場の花笠踊りを披露し、大きな拍手をいただきました。これまで会長の原田忠吉さんが退任し、森山馨さんが新会長に就任しました。さらに連携を深め、今後ますますのご盛会、ご発展をお祈りします。

質疑応答が見やすく、私たち高校生の若い世代でも興味や関心を引かれた

尾花沢雅楽をきっかけに、市の魅力を知ってほしい。

表紙に5地区順番に話題や行事を載せると、ますます市民の関心が高まると思います。

「検討する」という当局答弁の結果を次回、次々回に出してほしい。

鈴木清議員の質疑と応答が違っている点目立ちます。

協議経過は、報告の文章が切れ目なく続き、読む気持ちになるのに苦労しました。

大きくわかりやすい見出しと写真があり、議会の内容を一目で知ることができた。

モニター制度を作ることが、少しでも市民に議会をもっと知ってほしい、まちづくりに参画してほしいとの思いを感じました。

一般質問のスペースが広くなり、さらに質問者の写真が入ってとても読みやすくなりました。

本文が縦組みなので、表紙も縦組みの方がいいと思います。

6月定例会賛否状況は大変良く、次回市議会議員選挙の参考になります。賛否の代表的な意見を掲載できればなお結構です。

市議会だより読者モニターの皆さんから、たくさん声をいただきました。寄せられた意見をできることから取り入れて、より読みやすく親しまれる紙面づくりに活かしていきます。

モニターの声

届きました！

学び行動 する議会へ

公立病院勉強会

8月30日に、北村山公立病院が来年4月から分娩を休止したいとする方向性について、全員協議会室に清野事務局長をお招きし、経過の説明と今後の病院運営についての勉強会を行いました。尾花沢市にとって、なくてはならない基幹病院として継続できるよう要望しました。



紙面も議会も質が高い

議会だより視察研修

10月3日～4日に岩手県金ヶ崎町と宮城県女川町に視察研修に行き、私たちのつくる議会だよりがもっと親しみやすく、関心をもって読んでもらえるかについて勉強しました。タイトルや写真の使い方など大変参考になり、私たちもできることからさっそく取り入れていきます。

議員政策形成セミナー



熱心に聞く三市一町の議員



話し上手な土山講師

10月2日に尾花沢市議会として、講師に龍谷大学教授の土山希美枝氏をお迎えし「質問力を高め、議会力に活かす」をテーマにセミナーを開催しました。せっかくの機会であるため声掛けをしたところ、三市一町から52名の議員が参加しました。

市当局からしっかりとした答弁をいただくためには、質問したい項目の情報収集をはじめ、課題となっている現場の客観的な状況をとらえることなど具体的な一般質問のしかたについて学びました。

お説ひの訂正
議会だより94号を次のとおり訂正します。
1ページ
安全祈願祭の文中「大く」を「多く」に。
10ページ
2段目「問」と「答」が逆になります。